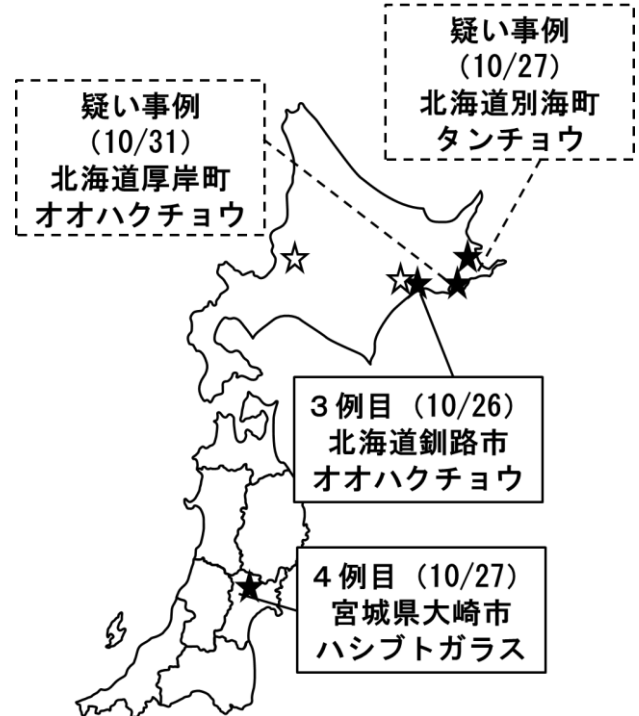


## 北海道、宮城県の野鳥で高病原性鳥インフルエンザの感染を確認(野鳥国内3、4例目)

### <確認事例>

- ・3例目 : 北海道 オオハクチョウ
- ・4例目 : 宮城県 ハシブトガラス
- ・疑い事例:北海道で2例 (簡易検査陽性)

- ☆ 県では、養鶏場周囲のため池等野鳥忌避対策を、順次開始しています。
- ☆ 生産者の皆さんも、飼養衛生管理基準の遵守徹底を行い、発生予防の徹底をお願いします。
- ☆ 以下の項目はできていますか？再度、確認しましょう。



### 1 農場、家きん舎周囲への消石灰散布 (又は消毒) は定期的に行いましょう

鶏舎周囲と衛生管理区域境界を中心に、消石灰等で定期的に消毒しましょう。特に、降雨後は再度実施しましょう。

### 2 農場へ出入りする人・モノ・車両消毒を徹底しましょう

寒くなると消毒薬の効果は減弱します。消毒薬の濃度を夏期より濃く調整し、定期的な交換を徹底しましょう。

### 3 害虫やねずみの駆除・侵入防止対策を確実にしましょう



防鳥ネットや家きん舎などに破損がないか点検し、破損を見つけたらすぐに修繕しましょう。寒くなるとハエなどの害虫やねずみなどが鶏舎の内部に侵入してきます。ハエ取りシート、ねずみ駆除シートや殺鼠剤を利用し、侵入リスクをできる限り下げましょう。

- ☆ 死亡の増加はなくとも、産卵率低下、食欲不振、元気消失等の普段とは異なる症状を認める場合は、家畜保健衛生所へご連絡ください。

県央家畜保健衛生所 TEL:028(689)1200 FAX:028(689)1279 (夜間・休日) 090-7205-0895  
県南家畜保健衛生所 TEL:0282(27)3611 FAX:0282(27)4144 (夜間・休日) 090-7205-1402  
県北家畜保健衛生所 TEL:0287(36)0314 FAX:0287(37)4825 (夜間・休日) 090-7205-1826